

報告事項1 下野谷遺跡の保存・活用について

1 下野谷遺跡保存活用計画について

(1) 計画策定に関連する事業

①平成 29 年 8 月 17 日（木）懇談会委員等近隣遺跡視察

懇談会委員・西東京市文化財保護審議会委員により、水子貝塚（埼玉県富士見市）及び下宅部遺跡（東村山市）の整備状況等を視察した。

②平成 29 年 8 月 19 日（土）ワークショップ

“遺跡めぐり”をして下野谷遺跡の宝物を探そう！

市民意見聴取の企画として、市内の中学生以上を対象とし、近隣遺跡（上記 3 と同様）し、その後に下野谷遺跡について考えるワークショップを実施した。

③平成 29 年 9 月 30 日（土）ワークショップ

“遺跡めぐり”をして下野谷遺跡の宝物を探そう！（中学生対象）

市民意見聴取の企画として、未来を担う市内の中学生を対象とし、上記 3 と同様の事業を実施した。

④平成 29 年 10 月 8 日（日）第 11 回縄文の森の秋まつり

下野谷遺跡の周知活用を推進するため、市民団体等との連携協力により普及イベントを実施し、その中で意見ボードの設置による市民意見聴取を行った。

(2) 下野谷遺跡保存活用計画策定懇談会

①第 6 回会議 平成 29 年 10 月 24 日（火）

②検討状況

下野谷遺跡の保存、活用及び整備に関する基本的な考え方

○史跡の本質的価値を有する西集落（史跡部分及び指定候補地）の確実な保存

- ・保存管理の基本方針、地区ごとの現状変更等の対応基準案
- ・追加指定及び公有地化の推進

○下野谷遺跡の価値や魅力を伝える活用

- ・現状での活用事例の整理し、「集い」「結び」「広がる」活用へ
- ・縄文から未来に・下野谷から世界へ

○保存を前提とした活用促進に向けた整備

- ・遺跡周辺と周辺環境とを一体的に捉える「水と緑、歴史と文化」
- ・遺構保護の森土を行ったうえでの遺構の表示等

2 下野谷遺跡の活用事業について

①平成 29 年 8 月 3 日（木）、10 日（木）

「小中学生を対象とした遺跡発掘体験事業（北杜市交流事業）」

西東京市と山梨県北杜市（友好都市）に共通する「縄文時代の遺跡」をテーマとした都市間交流事業として、北杜市の小中学生と発掘体験などを実施した。



②平成 29 年 9 月 16 日（土）

講演会「5000 年前へタイムスリップ 縄文時代の『したのやムラ』」

多摩六都科学館との共催で、プラネタリウムにおいて「VR 下野谷縄文ミュージアム」を使用した下野谷遺跡の講演会を実施した。

※現在は、プラネタリウム生解説番組「5 千年前にタイムスリップ！～縄文人が見た『したのやムラ』」を開催中（12 月 22 日（金）まで）。



③平成 29 年 10 月 8 日（日）

第 11 回縄文の森の秋まつり

国史跡下野谷遺跡の価値と魅力を広く周知するとともに、文化財を活用した地域活性化の取り組みを推進するため、市民団体及び地元商店会、市内事業者、東伏見小学校、東京都等との連携協力のもと実施した。



④平成 29 年 10 月 22 日（日）

「東伏見ふれあいまつり」での出展・PR

下野谷遺跡を地域の貴重な資源として活用していくため、地域連携の一つとして、地元商店会主催のイベントにおいて PR を行った。